

県政と皆様を結ぶ情報誌



# 県政報告

## vol.8

2021.1月発行

愛知県議会議員

# 神谷まさひろ

皆様には健やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年は大変お世話になり誠にありがとうございました。「日記形式での県政報告Vol.8」をお届け致します。今回は昨年の11月定例愛知県議会の内容を中心に掲載してあります。11月議会ではコロナ対策のための補正予算が多く計上されました。一方で、新たに事業を起こそうとする方々を応援するスタートアップ支援拠点[ステーションAi]の整備予算なども計上されアフターコロナを見据えた予算にもなっています。

『何も咲かない寒い日は下へ下への根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く』…コロナの拡大で気持ちが塞ぎがちになるこのような時だからこそ、コロナ対策と同時に春に備えてしっかり根も張っておく必要があると思います。皆様にはぜひ一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



## 11.26 木 ▶ [あいち朝日遺跡ミュージアム]がオープンしました

清

須市にある[あいち朝日遺跡ミュージアム]に出かけました。11月22日(日)にオープンをして私たち県議会議員も式典に招待されていたのですが、他の用事と重なってしまったため出席することが出来ず、今日改めて見学に行ったのです。

尚、この施設の管理運営は刈谷市に本社のある企業が担っておられます。地元の企業の活躍は嬉しいものですね。皆様もぜひお出かけください。

朝日遺跡は弥生時代前期から古墳時代前期まで営まれた全国でも有数の大規模集落です。土器・石器・木器・骨角器・金属器などの出土品2028点が国の重要文化財に指定されており、そのうちの400点以上が公開されていました。当時の人々の暮らしに思いを馳せながら、歴史のロマンを楽しんで来ました。



## 12.4 金 オンラインによる委員会出席が可能に

**先** の9月定例議会において愛知県議会委員会条例が一部改正されて、オンラインによる委員会への出席が認められることになりました。

但し、どのような事情であっても認められる訳ではなく、「新型コロナウイルス感染症その他重大な感染症の

まん延又は地震、台風その他と大規模な災害の発生により、委員会を招集する場所に参集することが困難な時」に、委員長の許可を得て可能となるのです。

そして今日、私の事務所と委員会室とを結んでの接続テストが行われました。

## 12.7 月 スタートアップの支援拠点【ステーションAi】について質問しました

**私** が所属する経済労働委員会が開催され、補正予算の質疑の中でスタートアップの支援拠点である【ステーションAi】の整備について議論しました。

名古屋市の鶴舞公園南側の県有地に整備予定のステーションAiについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2月に公表したPFI事業者の選定に係る入札公告を一旦、5月に取り消したのですが、11月17日に改めて入札公告を行い、選定手続が本格的に再開されました。

しかしいくつかの点について事業スキームの見直しが行われました。そしてその見直し内容を見る限り「条件を良くしなければPFI事業者の応募がないのではないか」つまり「以前に比べてスタートアップ支援に対する需要が見込めない状況になったのでないか…」と心配になるような見直しだったのです。そこでその点を質したところ、その危惧を打ち消すように次のような力強い答弁がありました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、逆に、期待や需要が高まったと考えている。社会全体がダメージを負っている現状は、解決すべき社会課題が噴出している状況。こうした大きな変革が求められる状況は、新しいアイデアや技術により課題を解決することに長けたスタートアップの活躍が期待される局面。

行政としても、スタートアップが活躍する場作りを行い、その下支えをする必要は益々高まっていると考えている。

供用開始が当初の予定より約2年遅れて2024年10月頃になってしまいましたが、ぜひ世界最高レベルのイノベーション創出拠点を作って欲しいと願っています。



## 12.8 火 刈谷依佐美地区の企業誘致の状況について質問しました

**経** 済労働委員会2日目。今日は企業庁に関する議案が審査され、私は9月議会に続いて【刈谷依佐美地区の企業誘致の状況について】一般質問を行いました。

9月議会の答弁では「契約の辞退により2区画、約2haの空き区画が生じたことから9月24日から11月4日まで、一般公募により再募集を行う」とのことでした。

そこで、その応募結果と今後の予定について質問をしたのです。その答弁としては…



「再募集の結果3社の企業から申込みを頂いた。既に契約を締結した6社については、いずれも刈谷市内の企業であった

が、今回の申込企業3社については、すべて県外に本社がある企業で、刈谷市外にある県内の事業所からの移転又は新規に事業所を設けるための申込みとなっている。

現在、申込みのあった3社について刈谷市と協議を進めており、刈谷市が決定した優先順位を踏まえ、今月中には企業庁において立地内定企業を決定することにしている。今年度中には契約締結できるよう努力する。」とのことでした。

この地区は新たな産業集積を促すという目的もありました。そういった意味では、[市の中心部でなかなか工場を拡張したくてもできなかった企業の移転] + [県外から新たな企業を呼び込む]といった理想的な組立になったと思っています。



## 12.14 月 名古屋岡崎線の要望のため知立建設事務所を訪問

都

市計画道路[名古屋岡崎線]の整備促進要望のため知立建設事務所を訪問しました。

[名古屋岡崎線]と言うのは、名古屋市と岡崎市を結ぶ延長約26.3Kmの国道1号線を補完するバイパスで、刈谷ハイウェイオアシスの北側を通っている道路です。県道豊田知立線から西側について現在工事が行われており、その整備推進の声を地元井ヶ谷町の皆様方から戴いており、その声を届けるために出かけたのです。

この道路は刈谷スマートICの整備により益々重要性が増してゆく路線です。道路整備には常に用地買収の難

しさが伴いますが、この地域の活性化・ストック効果の拡大のために早期の供用開始を要望しました。



## 12.16 水 11月定例議会最終日 補正予算の中から紹介します

11

月27日(金)から20日間の会期で行われた令和2年11月定例愛知県議会も今日が最終日です。今回の補正予算にはコロナの最前線で命



がけで頑張っておられる医療機関や医療従事者の皆さまへの支援がいくつかありました。それらを含め各種事業の中から数点紹介します...

### ①診療・検査医療機関の体制整備に必要な設備の導入費用を支援します 約41億円

【対象機関】 愛知県が指定した診療・検査医療機関

【対象設備】 HEPAフィルター付空気清浄機

HEPAフィルター付パーティション、簡易ベッド  
テント・プレハブなどによる簡易診療室等

【補助率】 10/10

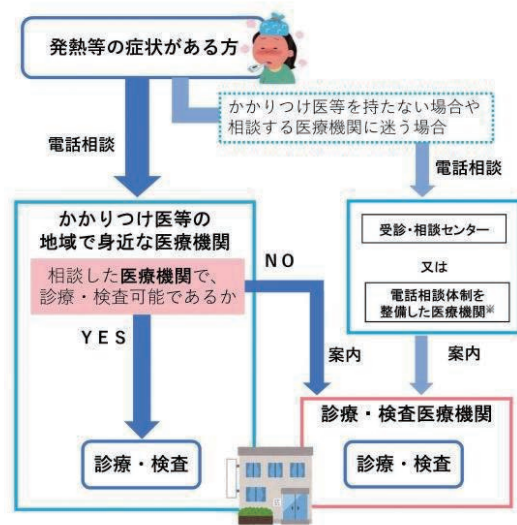
ここで[診療・検査医療機関]について少し説明しておきます。

発熱患者などがかかりつけ医などの地域の医療機関に直接電話で相談の上、診療・検査を受けられる体制を整えるため、[診療・検査医療機関]を指定したのです。12月13日現在愛知県全体では1429機関(その内刈谷市には28機関)あります。

[診療・検査医療機関]への相談・受診方法は、フロー図の通り、発熱などの症状がある場合には、まずかかりつけ医などに電話で相談していただきます。そしてその身近な診療所や病院でPCR検査対応ができるようになったのです。

かかりつけ医を持たず受診先に迷う方のためには、医療機関を案内する電話相談窓口として「受診・相談センター」を保健所に設置し「電話相談体制を整備した医療機関」を指定しましたからご安心下さい。

発熱患者等の外来診療フロー図



※一部の地域において、受診・相談センターと同様に電話相談に対応する医療機関

### ②子ども食堂が行う感染症対策を補助します 1750万円

【補助対象】 県内において子ども食堂の運営を行っている、又は行う予定の団体

【対象経費】 消毒液・マスク・体温計・パーティション等の購入に要する経費

【補助率】 10/10

【補助上限額】 10万円(1か所あたり)

今年の6月の調査によりますと県内の子ども食堂の数は175か所とのことです。

### ③新型コロナウイルス感染症対策医療機関の従事者に 慰労金を支給します(国の制度) 約59億円

今回の補正予算では[新規事業]への予算付けもありますが、[コロナ対策としてこれまで行っていた事業について追加の予算を計上する]といったものが多くあります。この慰労金もそれにあたり、6月補正の段階では交付見込みの人員を18万6千人としたいものが、実際には23万6千人に増員したために約59億円を追加するのです。この結果、この事業に対する総額は約235億7167万円となりました。

#### 【支給対象者及び支給額】(6月補正時と同じ)

##### 1. 1人あたり20万円

新型コロナウイルス感染症に関して、県から役割を設定された医療機関(※)に勤務し、実際に患者に診療等を行った医療機関の医療従事者や職員等

##### 2. 1人あたり10万円

新型コロナウイルス感染症に関して、県から役割を設定された医療機関(※)に勤務し、実際に患者に診療等を行っていない医療機関の医療従事者や職員等

##### 3. 1人あたり5万円

上記以外の病院・診療所等に勤務し患者と接する医療従事者や職員等

※重点医療機関、入院協力医療機関、帰国者・接触者外来設置医療機関、PCR検査所など

### ④愛知県医療従事者応援金(こちらは愛知県独自の制度です) 約9億円

この事業も5月補正予算において約37億円計上されていたのですが、予算の根拠となる入院患者見込み数が2681人から3664人に増えたため約9億円の追加予算を計上するものです。



#### 【支給対象者及び支給額】(5月補正時と同じ)

##### ①交付対象

新型コロナウイルス感染症患者が入院した医療機関

##### ②使途の例示

- 新型コロナウイルスに感染した患者又はその疑いのある患者に対応した医療従事者に対して支払う手当
- 医療従事者が家族への感染防止のためホテル等宿泊施設に宿泊した費用に対する手当
- 患者の増加に伴い増員した医療従事者の賃金 等

### ③交付額

- 入院患者1人当たり(軽症・中等症)…100万円
- 人工呼吸器を装着またはICUで対応した場合(重症)……………200万円
- ECMOを装着した場合(重篤)…400万円

### ⑤県立学校における新型コロナウイルス感染症対策の 充実を図ります 2億8400万円

#### ◎対 象

県立高等学校 全150校

県立特別支援学校 全30校

#### ◎所要額

6月補正時には1校あたり200万円～400万円であったものを300万円～500万円(1校あたりの所要額は生徒数に応じる)に拡大するための追加補正です。これにより6月補正後には総額5億4000万円であったものが11月補正後には総額8億2400万円となります。



#### ◎取組の内容

- 消毒液やマスク等の保健衛生用品の購入
- 教室及び体育館等の換気のためのサーキュレーター等の整備等
- 学習の遅れを補う教材作成のために必要な経費
- 3密対策として空き教室等を活用した授業の実施に必要な経費等

### ⑥[愛知県感染防止対策協力金]の拡大が急きょ上程されました

営業時間の短縮に  
応じて頂ける酒類販  
売を伴う飲食店など  
にお支払いをする[愛  
知県感染防止対策協  
力金]の拡大・延長に  
ついて、一昨日までは

対象エリアを名古屋市中区全域として、支給額は1店舗1日当たり2万円という内容で上程される予定だったのですが、急きょ対象エリアを愛知県全域、支給額は1店舗1日当たり4万円という内容に拡大されることになりました。期間は12月18日(金)～1月11日(月)までです。

尚、刈谷市では愛知県の1日4万円に加えて独自に1日4000円を上乗せするとのことです。

#### 感染防止対策協力金の支給

支給 金額	1事業者あたり1日2万円・最大40万円
	<b>1店舗あたり・1日4万円 最大100万円</b>
条件	下記の2点を実施していること ①業種別ガイドラインを遵守 ②「安全・安心宣言施設」に登録し、 PRステッカーとポスターを掲示

### お知らせ

恒例の[初詣バスツアー]につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないため本年は中止することと致しました。

発行／神谷まさひろ事務所

住所／〒448-0028 刈谷市桜町3-45

TEL／0566-23-0344 FAX／0566-23-1399

紙面の都合上、一部の内容しか掲載することが出来ません。私のHPでは日記をほぼ毎日更新していきますのでぜひご覧下さい。  
<http://kamiya.gr.jp>

神谷まさひろ

検索

